

第2回 消防防災ヘリコプターの操縦士の
養成・確保のあり方に関する検討会説明資料

27. 7. 30
防 衛 省

1 運航しているヘリコプターと任務について（その1）

・自衛隊が保有する主な回転翼機は、戦闘、輸送、観測、掃海、哨戒、救難、練習等の任務に応じて様々な機種が用いられており、平成26年12月末現在、陸海空各部隊において約600機の回転翼機を保有している。

○ 自衛隊が保有する主な回転翼機とその用途

回 転 翼 機	対 戦 車 戦 闘	 AH-1S	 AH-64D	
	輸 送	 CH-47J	 CH-47JA	要人輸送  EC225LP
	観 測	 OH-1	 OH-6D	
	多用途	 UH-1H/J	 UH-60JA	
	哨 戒 掃 海	 SH-60J/K	 MCH-101	 MH-53E
	救 難	 UH-60J		
	練 習	 TH-480B	 TH-135	

陸上自衛隊 海上自衛隊 航空自衛隊

1 運航しているヘリコプターと任務について（その2）



御嶽山頂上付近でのホイスト作業
陸自 UH-60



捜索活動
陸自 OH-6D



ドラム缶空輸
海自SH-60



山火事に対する消火活動
陸自CH-47

2 退職予定自衛官に対する再就職支援について

- 自衛官は、精強性を保つため、若年定年制(50歳代半ばで退職)及び任期制(多くは20歳代で退職)を採用
 - ・若年で退職する自衛官の退職後の生活基盤の確保のため、国(防衛省)が再就職支援(就職援護)を実施
 - ・退職予定自衛官に対する再就職支援(就職援護)は、厚生労働大臣等から無料職業紹介事業の許可を得た(一財)自衛隊援護協会等が職業紹介(求人の斡旋等)を実施
 - ・なお、ヘリコプターの操縦士(パイロット)は、幹部自衛官であるため、定年年齢は50歳代半ばとなる。

【参考】若年定年制自衛官の階級別定年年齢

階級	1佐	2佐、3佐	1尉～1曹	2曹、3曹
年齢	56歳	55歳	54歳	53歳

【参考】任期制自衛官の任期

任期	1任期目	2任期目以降
年数	陸自:2年、海自・空自:3年	2年

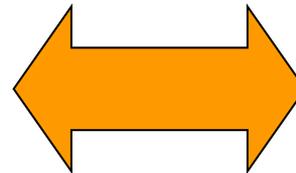
【参考】退職自衛官の数(平成25年度)

- ・若年定年制 : 年間約5,900人
- ・任期制 : 年間約2,000人
- 合計 : 年間約7,900人

防衛省・自衛隊

全国の自衛隊の就職援護担当者が以下の業務を実施

- ・求人開拓、求職情報の収集・整理
- ・求人、求職情報の援護協会への取次ぎ
- ・企業主等に対する就職援護広報
- ・就職援護教育、職業訓練



自衛隊援護協会

無料職業紹介を実施

- ・自衛官と企業とのマッチング
- ・求人開拓
- ・求人票、求職票の受理

3 ヘリコプター操縦士である退職自衛官の再就職状況等について

○ ヘリコプター操縦士への再就職状況（平成22年度～平成26年度）

区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計
陸自		1名		1名	1名	3名
海自					1名	1名
空自		1名		1名		2名
合計		2名		2名	2名	6名

※上記の人数は、再就職支援(就職援護)により再就職した実績である。

○ 退職者の保有資格等について

- ・ 自衛隊のヘリコプター操縦士が保有する事業用操縦士の資格としては、陸上多発タービン機と陸上単発タービン機が混在している。
- ・ 自衛隊のヘリコプター操縦士が定年退職する際には、ドクターヘリの運航事業者等の独自基準である飛行時間(2,000時間)を一般的には超えている。
- ・ 『EC225LP』の操縦士については、国土交通大臣から当該航空機に係る技能証明の限定の変更を受けている者がいる。